

「一日一生」 の想いで過ごしましょう

夫（それ）、人間の浮生（ふしょう）なる相を、つらつら観ずるに、おほよそはかな

きものは、この世の始中終（しちゅうじゅう）、まぼろしのごとくなる一期なり。

さればいまだに萬歳の人身をうけたりといふ事をきかず、一生すぎやすし。

いまにいたりてたれか百年のきょうたいをたもつべきや。

我やさき、人やさき、けふともしらずあすともしらず。

おくれさきだつ人は、もとのしづくすゑの露よりもしげしといへり。

されば朝には紅顔ありて、夕べには、白骨となれる身なり。すでに無常の風きたり

ぬれば、すなはちふたつのまなこたちまちにとち、ひとつのいきながくたへぬれば、

紅顔むなしくへんじて、桃李（とうり）のよそほひをうしなひぬるときは、六親け

んぞくあつまりて、なげきかなしめども、更にその甲斐あるべからず。

さてしもあるべきことならねばとて、野外におくりて夜半（よわ）のけむりとなし

はてぬれば、ただ白骨のみぞのこれり、あはれといふも中々おろかなり。

されば人間のはかなき事は、老少不定（ろうしょうふじょう）のさかひなれば、た

れの人も、はやく後生の一大事を心にかけて、……、。

人生は一日一生の思いで悔いのない生き方をしたいものです。

白骨の章を読んで感じる事があれば、貴方は一步前に進んでいます。

今からでも遅くありません。各自自分を見つめなおし、人生を楽しく生きようではありませんか。

携帯：090-8225-3456

